

# 使用説明書

## M2R テストおよびデモンストレーションベンチ



あなたは M2R テストベンチを購入しました、そしてあなたがそれに満足していることを願っています。機関車のテスト、アナログおよびデジタル機器の調整だけでなく、デモンストレーションにも特に適しています。

### 警告:

このデバイスはおもちゃではありません。12歳未満の子供には適していません。

\_それは電源に接続することができます。

\_それは撮取できる可動部品で構成されています。

したがって、このデバイスは大人の監督下で使用する必要があります。

### 実装:

\_完全に平らな面（テーブル、机、または作業面）にテストベンチを置きます。

\_清潔で遮るもののない表面で使用します。

\_テストベンチの両端を平らに置きます。4フィートはベンチが置かれている表面に接触している必要があります。

\_すべてのキャリッジロッドが2つの縦軸上にあることを確認します。

\_電気制御装置（デジタルまたはアナログ）をニュートラル位置に置き、テストベンチに接続します。

\_機関車をテストベンチに配置します。各車軸はトロリー上に置く必要があります 必要に応じて、問題が発生する可能性があります（不十分な電氣的接触または機関車の脱線）。

機関車が配置されたら、コントロールボックスの電源を入れることができます これで、M2R テストベンチの使用を開始できます。

### コントロールとテストベンチ間の電気接続

中空縦棒（500mm 棒）付きモデル

接続はバナナプラグまたはクロコダイルクリップで行うことができます

中実縦棒（500mm 棒）のモデル

接続は、ワニ口クリップを使用するか、ワイヤーを縦棒にはんだ付けするか、ロッドとベンチの端にあるプラスチックブラケットの1つとの間にワイヤーをトラップすることによって行うことができます。

### ストレージ

\_理想的には、テストベンチが提供されているパッケージを保管し、衝撃から保護します。

\_テストベンチは涼しく乾燥した場所に保管してください。

### インタビュー

使用中、ローラーが汚れて、ローラーと電流を集めるホイールとの間の電氣的接触が変化する可能性があります

粒状の消しゴム（レールの消しゴムの例）またはきめの細かいサンドペーパーでローラーを清掃します。

次に、きれいな乾いたブラシですべてをきれいにします。

### スペアパーツ

テストベンチは完全に取り外し可能なので、すべての部品を個別に交換できます。

あなたはウェブサイト [www.lehangaralocos.fr](http://www.lehangaralocos.fr) でスペアパーツと追加のトロリーを見つけるでしょう

### トラブルシューティング

機関車は脱線します:

各車軸がトロリーに配置されていることを確認します。

すべてのホイールフランジがローラーの内側に配置されていることを確認します。

車軸とローラーの間に良好な潤滑があることを確認してください（車軸ごとに1マイクロドロップで十分です）。

それでも脱線が見られる場合は、「実装」の章に戻ってください。

機関車が始動しない:

キャリッジのすべてのロッド（20mm ロッド）が縦軸（500mm ロッド）上にあることを確認します。

ベンチと電気制御装置の間の接続を確認し、

それでも機関車が始動しない場合は、「始動」の章に戻ってください。

### きしむ音

車軸は、組み立て中に、メカニズム用に特別に設計された植物ベースの潤滑剤で潤滑されます。時間の経過とともに、車軸の潤滑が失われ、きしむ音が発生する場合があります。

これは、軸と真ちゅう製ローラーの接合部に浸透油をわずかに滴下するだけで解決できます。

植物ベースのシリコーンフリーの浸透性オイルが好ましいはずですが、他の機械的なシリコーンフリーの浸透性オイルも同様に仕事をします。

**注意:** トロリーに浸透油をこぼさないでください。その場合は、必ず余分な潤滑剤を拭き取ってください。

コメント、提案、改善提案、または単にモデルメーカー間で意見を交換するために、連絡先セクションの下のサイト [www.lehangaralocos.fr](http://www.lehangaralocos.fr) で私に連絡することができます。